

次期津市総合計画策定の進め方



計画策定の基本的な視点

1 まちづくりの目標と施策の基本方針を明らかにする

合併20年が経過し新たなステージにおけるまちづくりを展開する中、総合計画の基本構想を踏まえつつ、今後の10年間はもとよりさらに先のまちづくりを展望し、本市が直面する新たな課題を整理し、その目標と達成に向けた施策の基本方針を明らかにします。

2 社会経済状況の変化を的確に捉える

少子高齢化や人口減少の急速な進展、価値観やライフスタイルの多様化など、社会構造の変化を的確に把握し、柔軟に対応するとともに、エビデンスに基づく実効性を備えた計画とします。

3 市民と行政が同じ目標を持ち、共にまちを創っていく

本市は、長い歴史に培われた住民自治の意識が高い成熟したまちです。こども・若者、子育て当事者をはじめとする多様な世代、そして地域、各種団体との丁寧な対話を重視するとともに、市民との対話を通じ、その想いを未来につなげていく計画とします。

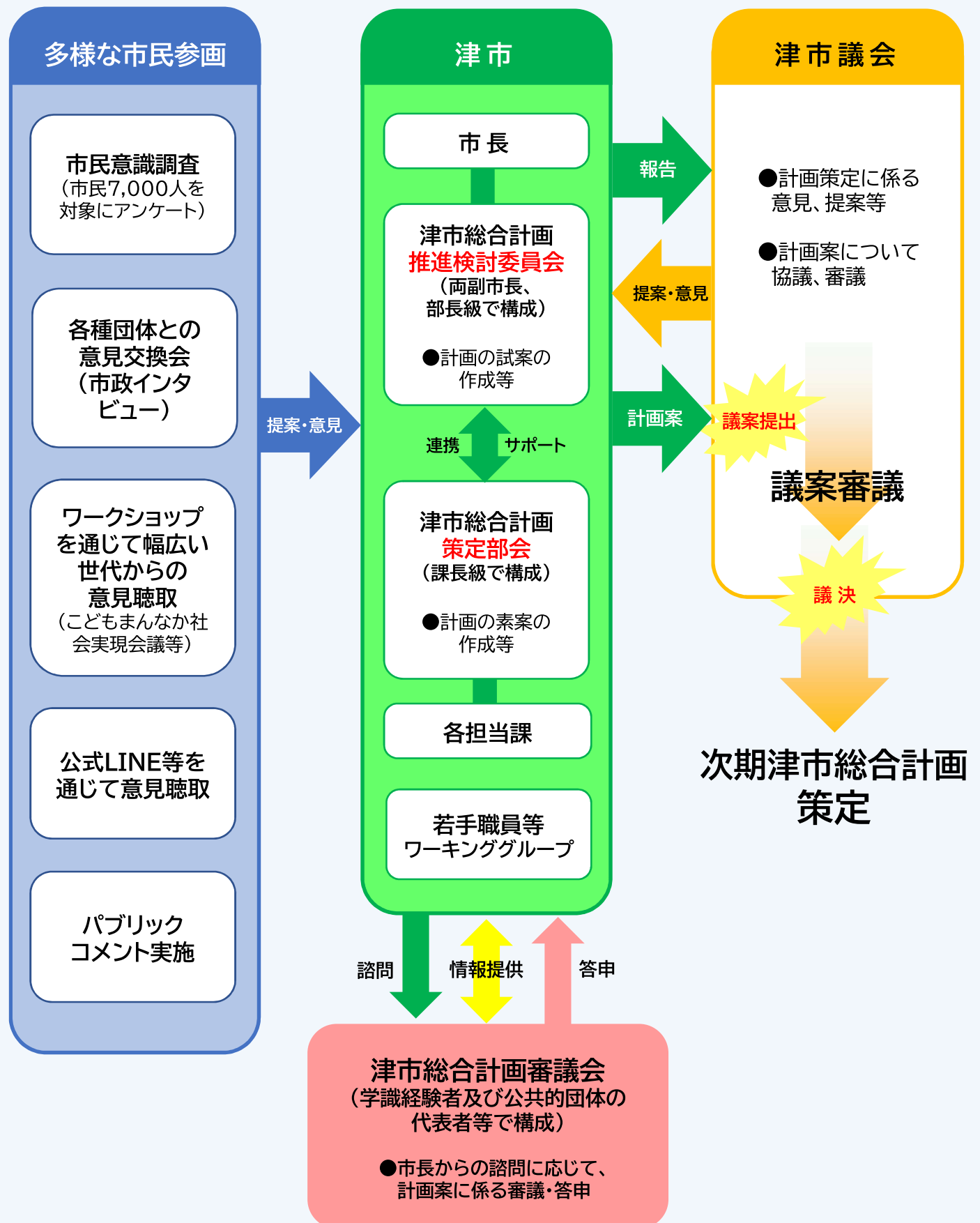
4 地域の資源を活かし、津市の魅力を磨く

魅力ある県都として持続的に発展し、さらに住みやすく質の高い生活を実現するために、歴史や文化、景観や自然環境、産業、人との繋がりといった本市の強みと財産を磨き、市民が愛着と誇りを持てる風格ある県都津市を創造する計画とします。

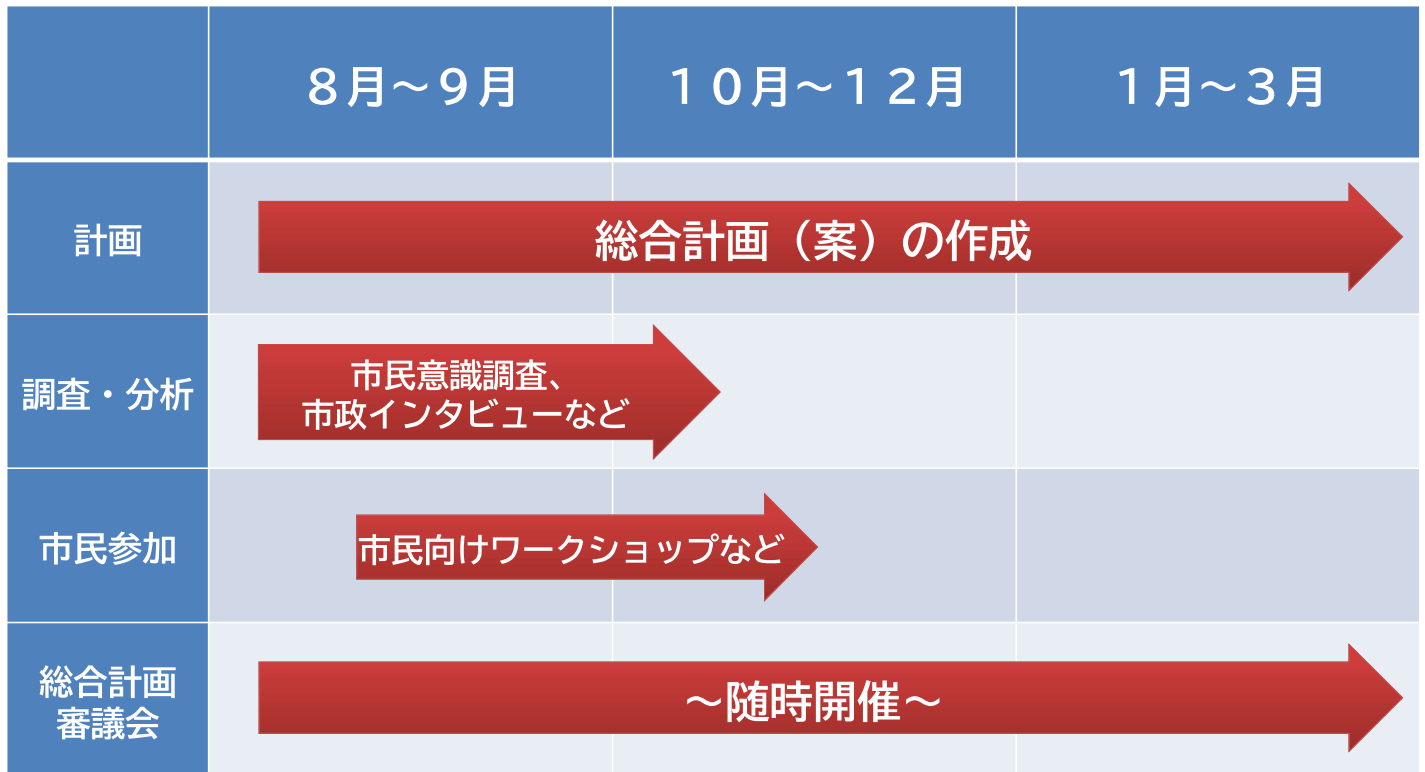
5 市民にとって見やすく、わかりやすいものにする

簡潔で要点を押さえた表現やレイアウト等を工夫し、見やすく、わかりやすい計画とします。

次期津市総合計画策定に向けた体制及び手順

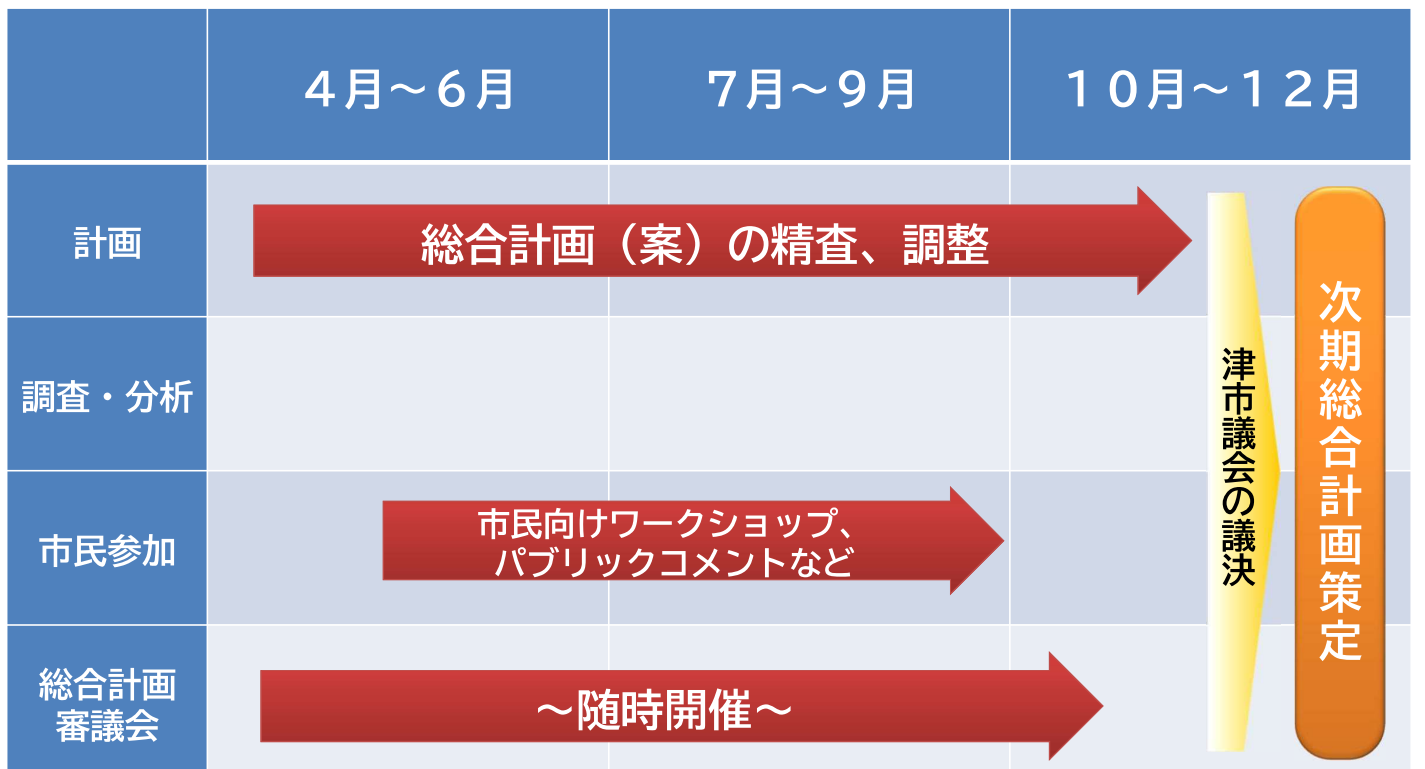


計画策定までのスケジュール(令和8年度)



3

計画策定までのスケジュール(令和9年度)



4